

## 第 7 回和光市未来技術地域実装協議会 議事要旨

1. 日 時： 令和 5 年 7 月 7 日（金）
2. 場 所： 和光市役所 6 階 6 0 2 会議室（Web 併用会議）
3. 出席者： 出席委員名簿のとおり 配布済み資料のとおり
4. 議 事： **【審議事項】**  
1 期社会実証の概要について  
**【報告事項】**  
①第 1 回全体ワーキングの開催結果について  
②住民説明会の開催結果について

配布済み資料のとおり

### 5. 要 旨

- (1) **【審議事項】** 「1 期社会実証の概要」について、市にて社会実証走行の概要を説明し、以下の内容の質疑を行い、1 期社会実証の実施について採決した。

⇒ **【採決結果】** 賛成多数により承認

<委員からの主な質疑内容>※当日意見

#### 1) （北首都国道事務所）

左折車が自動運転バスと交差する際にどのような挙動を示すのか、また一般車両がバス専用通行帯に入ってしまう事例がどの程度発生するのか、社会実証期間中に現地で確認してはどうか。

...(事務局回答)...

社会実証期間中に検証項目と併せて注視していきたい。

#### 2) （埼玉県警察本部交通部交通総務課）

交差点における安全な通行などが課題となる。そうした課題に対し、技術的にどのようにクリアしていくのか。

...(事務局回答)...

自動運転車両は、歩行者を検知した際に減速し、最終的には停車する仕様であり、緊急の際には運転手が手動介入することで運転士の操作を優先するシステムとなっている。将来的には歩行者を検知するセンサーを交差点に整備し、自動運転バスと協調することも考えている。

#### 3) （総務省関東総合通信局無線通信部）

自動運転バスにドライブレコーダー等を装備し、実証走行の記録をとるのか。  
...(事務局回答)...

実証走行の際は、ドライブレコーダーを装備し、録画する予定でいる。

(2) 【報告事項】 「第1回全体ワーキングの開催結果」や「住民説明会の開催結果」について、市にて主に出された意見・質疑内容を説明し、以下の内容の質疑を行った。

1) (埼玉県警察本部交通部交通規制課)

全体WGと住民説明会で出された「自動運転走行車線が整備されていない箇所における運用方針について」とは、具体的にどのような対応を図るのか  
...(事務局回答)...

1期社会実証は、バス専用通行帯をレベル2で走行し、車線が整備されていない区間は手で走行する。今後、バス専用通行帯以外の一般車との混在区間も自動運転走行できるよう、東武バスウエストと協議を重ねる予定でいる。

2) (埼玉県警察本部交通部交通総務課)

地域住民の方々が本事業に対してどのように考えているのか。  
...(事務局回答)...

住民説明会の場を重ねてきた結果、本事業に対して少しずつ理解が進んでいると感じている。また、植樹帯を伐採したことで交差点部分の視界が良くなったといった意見も頂いている。今後とも、市民の方々には理解を求めて進めていきたいと考えている。

以降、書面での意見及びその見解 (2名、2件の意見)

=====  
<委員からの書面での意見及び事務局の見解>

1) (埼玉県警察本部交通部交通総務課)

交差道路や路外施設から進行してくる車両、並走する歩道上の自転車や歩行者などに対する事故防止技術実現の見通し、レベル4認可に向けた事業のスケジュール、関係機関との協議の状況など、詳細に説明いただく機会を早期に設定していただきたい。

...(事務局回答)...

車両や歩行者行動予測による衝突検知等の事故防止技術の実現については、WGメンバーや民間事業者と情報を共有しているが、まだ具体的な実現の見通しは立っていない。また、将来的にはレベル4を目指す、まずはレベル2の実証走行による検証実績を積み上げることが優先事項であるため、レベル4認可に向けた事業のスケジュールを示せる状況となっていない。

2) (福島大学/前橋工科大学 吉田 樹 )

G P S が届かない場所での安全な走行を確保するため、ターゲットラインペイントの活用など、道路側との協調を図る予定はないのか。また、これらを行わない場合でも安全性は確保される状況にあるのか。

.....(事務局回答).....

G P S の感度に関する調査は実施済みであり、走行ルートについてはG P S が届く状況となっているが、実証走行により感度が弱い区間が判明した場合は、安全な走行を確保するため、磁気マーカーやターゲットラインペイントの活用を検討したい。

=====

6. 事務局報告事項： 次回開催を令和5年11月頃を予定

以上